

競技注意事項

1. 本大会は、2020年（公財）日本陸上競技連盟競技規則、（公社）日本マスターズ陸上競技連合規則、および競技細則ならびに第69回大阪マスターズ記録会兼'20府民スポーツ・レクリーション大会兼関西マスターズスポーツフェスティバル2020大会要項およびこの競技注意事項により実施する。
2. 更衣について
 - ・競技者の更衣用として、ヤンマーフィールド長居（長居第2陸上競技場）の更衣室を男女別に各一室を開放する。
 - ・更衣室の使用は1度に5~10名以内（入口に掲示）とし、使用時間は1人5分以内とする。
 - ・入退室時に入口の「更衣室入退管理表」に名前・時刻を記入し、入室者数を確認すること。
 - ・更衣室内ではマスクを着用し、会話はしないこと。
 - ・シャワー室の使用は禁止する。
 - ・更衣のみに使用し、更衣した衣服や荷物を置かないこと。また、清潔に使用すること。
3. 練習について
 - (1) トラック種目の練習はバックスタンド外側とする。
 - (2) 投てき種目の練習は危険を伴うので、競技開始前に競技役員の指示により、投てき場内で行うこと。
4. 招集について
 - (1) 1次招集 招集場所：**室内練習場内**
 - ・競技開始時刻の2時間前～1時間前までに「体調管理チェックシート&一次コール用紙」を提出し、アスリートビブス・スパイク（シューズ）の確認を受けることで一次招集完了とする。
 - ・1次招集において、腰ナンバーカード（貼り付け式）を各自で受け取り、右腰に貼り付けること。
 - (2) 2次招集 招集場所：**現地**
 - 【トラック種目】 20分前開始 10分前完了
 - 【フィールド種目】 40分前開始 30分前完了
 - (3) 1次・2次招集に遅れた競技者は欠場したものとして処理する。
 - (4) 競技者は、スタートリストに記載されたアスリートビブス（ナンバーカード）で出場すること。
 - (5) トラック種目出場者は現地において、アスリートビブスと腰ナンバーカードの点検を受けること。
5. アスリートビブス（ナンバーカード）について
 - ① アスリートビブスは各自持参したものを使用すること。ただし、本大会は大阪マスターズ会員のみを対象とするため、府県番号（2桁）と会員登録番号（4桁）が明示されていること。
 - ② 競技者は、アスリートビブスをユニフォームの胸と背につけ、安全ピンで四隅を留めること。ただし、跳躍の競技者は、胸または背のいずれかにつければよい。
6. 競技について
 - (1) 競技者の出場する競技種目の変更は一切認めない。
 - (2) 年齢に不正があった場合は失格となる。
 - (3) 競技用具、スパイクについて
 - ① 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。
 - ② スパイクのピンは11本以内とし、9mm以内とする。
 - ③ トラック競技については、WA（世界陸連）改訂規則に伴うシューズ（いわゆる厚底シューズ）について使用する場合は、1次招集時にスパイクのチェックと同様にシューズのチェックを行う。

- (4) 競技者は、着用する衣類には、競技者の所属するクラブ名または団体名以外、規定の大きさ以上の製造会社名、商品名、製造会社を意味する図案および商標等の広告的なものにつけてはならない。また、それらの広告をつけた品物および、携帯電話・電子機器類等をトラックまたはフィールド内に持ち込んではならない。
- (5) 競技時間については、競技の進行上多少の変動があるので注意すること。
- (6) トラック競技
- ① トラック競技はすべて写真判定装置を使用する。
 - ② スターターの合図は、英語（「On Your marks」「Set」）で行う。
 - ③ 一つのレースにおいて、不正スタートをした競技者は失格とする。
- <クラウチングスタートの場合>
- ・号砲前に、飛び出した場合（地面上より手足が離れた時）を、不正スタートとする。
 - ・号砲と同時に選手が動いた場合（地面上より手足が離れない時）は、すべて「注意」とする。
- <スタンディングスタートの場合>
- ・スターターが「On Your marks」または「Set」を発声してから、号砲前もしくは号砲と同時に動いた場合、
 - *スタートラインを超えた場合、不正スタートとする。
 - *スタートラインを超えない場合（その場でのふらつき）、すべて「注意」とする。
- ④ 参加人数によっては、クラスの混合となることがある。なお、当日の参加人数によっては、組またはレーンの変更を行うことがある。
 - ⑤ トラック競技はすべてタイムレースで行う。
 - ・同記録で着差がない場合、または組が異なる場合は、生年月日の早い者を上位とする。
 - ⑥ フィニッシュ後、スタート地点へ戻るときは、本部前を通らず、サイド、バックスタンド側の通路を通って、出発点に帰ること。

(7) フィールド競技

- ① 試技順
 - ・試技順は全競技ともプログラム記載の番号順とする。
- ② 試技数等
 - ・走幅跳、立幅跳および砲丸投競技において、試技数は3回とする。
 - ・試技は申出により放棄することができる。
 - ・競技前の公式練習は、競技役員の指示に従うこと。
 - ・砲丸投競技の練習回数は、2回とする。
 - ・砲丸投競技の滑り止めは、主催者で準備しないので個人で持参すること。
- ③ 順位の決め方
 - ・走幅跳、立幅跳および砲丸投競技において、1位の記録が同記録の場合は、その競技者の2番目の記録で順位を決める。それでも決まらない場合は、3番目の記録とし、以下同様にして決める。それでも決まらない場合は、生年月日の早いものを上位とする。
- ④ 走幅跳、立幅跳のAピットはスタンド側、Bピットはトラック側とする。
- ⑤ 砲丸投競技の最小重量基準は別表1のとおり。
- ⑥ 走幅跳の踏切位置は、2m、1mとする。

7. その他の注意事項

- ① 競技場内への競技者の入場口は、正面出入り口からのみとし、正面外階段は終日閉鎖とする。退場口および再入場口は、マラソンゲートのみとする。再入場する場合は、IDカードを提示する。

- ② トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らず、サイド、バックスタンド側の通路を通って、出発点に帰ること。
- ③ 全ての競技者は、競技終了後手洗い場所で手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- ④ 通信機器（携帯電話等）を、トラックまたはフィールド内に持込んではならない。
- ⑤ フィールドの芝生内は全面立ち入り禁止とする。
- ⑥ 競技場内外での、場所取りは全て禁止とする。
- ⑦ スタンドの使用は、当日朝に「体温チェック」と「健康状態申告兼体調管理チェックシート」を提出し、IDカードの発行を受けた者のみとし、メインスタンドを競技者待機所として使用する。サイドスタンドおよびバックスタンドへ立入・使用は禁止とする。使用時は各自、人と人との距離を確保すること。なお、メインスタンドへの入場は、競技場内のメインスタンドの南北外階段からとする。
- ⑧ 横断幕の設置はすべて禁止する。
- ⑨ 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミは競技者が全て持ち帰ること。
- ⑩ 記録は、貼り出し掲示は行わない。後日、ホームページに掲載する。
- ⑪ 当日、賞状の発行はしない。後日、事務局から郵送する。
- ⑫ アスリートビブスがない場合、番号布を販売（1枚200円）するので、各自で作成すること。
- ⑬ 感染症予防のため個人持ちの用具の貸し借りは禁止する。
- ⑭ 盗難が多発しているため貴重品は各自で保管するなど持ち物の管理には注意すること。

8. 免責事項について

- (1) 競技中に生じた事故について、応急処置の他一切の責任は負わないので、各自傷害保険等に加入しておくこと。
- (2) 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

また、大阪マスターズとして新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、感染が起こらないよう努力しますが、参加される競技者におかれましても、各自感染防止対策を自らおこなっていただくとともに、大阪マスターズからの感染防止対策による指示等について、ご理解の上守っていただきますようご協力をお願いします。

<別表1>砲丸投競技用具の最小重量基準

	クラス	重 量		クラス	重 量
男子	M24～M45	7. 260 kg	女子	W24～W45	4. 0 kg
	M50～M55	6. 0 kg		W50～W55	3. 0 kg
	M60～M65	5. 0 kg		W60～W70	3. 0 kg
	M70～M75	4. 0 kg		W75	2. 0 kg
	M80+	3. 0 kg		W80+	2. 0 kg